

# 教職大学院とは

- ▶ このページを読んでいる人は、少なくとも学部で4年間勉強した後に、さらに、大学院でも学んでみようかなと思った人ですよ？大学院のページに間違って入り込んでしまったという人は、この先を読むのをここでやめてもいいですよ。
- ▶ 大学院にも興味があるという人が、このスライドを見ているという前提で話を進めていきます。
- ▶ 熊本大学教育学部の上にあるのが、教職大学院です。
- ▶ 大学院とは、一般的にはプロフェッショナルスクールと、アカデミックスクールの二種類に分かれます。さて、教職大学院は、どちらの大学院だと思いますか？
- ▶ 熊本大学教育学部の上にある教職大学院は、プロフェッショナルスクールです。



# アカデミックスクール

- ▶ 大学院には二種類あります。
- ▶ 例えば、教育学部で中学、高校の理科の教員免許を取って、中学の理科の先生になりたい人がいたとします。
- ▶ 理科の先生ですから、当然、理科が出来なければいけません。
- ▶ そのためには、理科の勉強をします。勉強をするうちに理科の研究をしたいと思うようになるかもしれません。
- ▶ 研究とは、例えば化学を専門として、化学に関する実験をして論文を書いてゆくというような行為です。そして、学問研究をする大学院が、アカデミックスクールと呼ばれる大学院です。



# プロフェッショナルスクール

- ▶ 化学なら化学の実験をして、それを論文として書いてゆくことを求められる大学院をアカデミックスクールと言います。
- ▶ 一方、中学の理科の教師になるためには、どんな授業をすれば生徒たちに化学に興味を持って持ってもらうかを考えなければなりません。
- ▶ あるいは、教師の仕事は、理科の教師といえども、理科の授業をやるだけではありません。
- ▶ 担任として、いい学級を作ることも教師の仕事です。例えばいじめが起きない学級を作るとかです。
- ▶ あるいは、不登校の子どもがいればそれに対応するのも教師の仕事です。
- ▶ あるいは、進路指導などもしなければなりません。
- ▶ つまり、いくら化学の実験をして論文をかけても、それでいい教師になれるわけではないのです。
- ▶ そして、教師としての能力を高めることを目指す大学院をプロフェッショナルスクールと言います。熊本大学教職大学院は、プロフェッショナルスクールです。
- ▶ ここで、2年間学ぶことで、教師としての能力を高めることを目指します。



# 教職大学院のコース

- ▶ 教職大学院はプロフェッショナルスクールなので、教師としての能力を高めるための学びが詰まっています。
- ▶ 以下の4つのコースに分かれます。
- ▶ 学校教育実践高度化コース
- ▶ 教科教育高度化実践コース
- ▶ 特別支援教育実践高度化コース
- ▶ 教育の国際化教育実践高度化コース
- ▶ どのコースも、2年間で50単位程度を修得とします。
- ▶ どのコースも教師としての能力の基本となる共通科目というものを20単位分修得します。
- ▶ どのコースも、教育実習のようなものを10単位分修得します。
- ▶ そして、それぞれのコースに独自に設定された科目を20単位分修得します。以上で、合計50単位となります。
- ▶ 自分の学びたいコースを受験することができます。



# 教職大学院の学び

- ▶ あなたが、教育学部に入学して教師になろうと思っていたとします。
- ▶ 4年生で教員採用試験に合格したとします。
- ▶ すると、3月に卒業すれば4月からはもう先生として教壇に立つことになります。
- ▶ もちろん、多くの先輩方は、そうやって先生になってゆくのです。
- ▶ しかし、不安じゃないですか？例えば、、、。+
- ▶ 3月まで大学生だった自分が、4月から教壇に立って、子供たちは授業をちゃんと受けてくれるのだろうか。
- ▶ クラスに不登校の子がいたら、自分はちゃんと対処できるのだろうか。
- ▶ 校則違反をする子の生徒指導をしっかりとできるのだろうか。
- ▶ そのような不安を抱えているなら、教職大学院に進学するという進路を考えてもいいかもしれません。



# 教職大学院生

- ▶ すぐに教壇に立つことが不安な人には、教職大学院をお勧めします。
- ▶ 教職大学院には、熊本市教育委員会から派遣されてきた現職の先生も3人大学院生としています。熊本県教育委員会から派遣されてきた現職の院生も3人大学院生としています。
- ▶ 一学年が30人ですから、現職の先生が6人の大学院生と、学部から進学してきた24人の大学院生と一緒に授業を受けます。
- ▶ ですから、現職の先生方とも親しくなれますし、その人たちの話を聞くことで自信にもなります。



# 教職大学院の先生

- ▶ 大学院生を教える大学院の先生方はどんな人なのでしょう。
- ▶ 教職大学院には、実務家教員という大学院の先生と研究者教員という大学院の先生がいます。
- ▶ この二種類の先生が、一緒に授業をするのです。
- ▶ 実務家教員は、小学校、中学校での教師の経験が長く、校長先生を経験した人もたくさんいます。大学院生たちは、この先生たちから授業を受けるわけですから、とても贅沢ですよ。
- ▶ 研究者教員とは、様々な科目の研究をする人です。心理学者であったり、教育学者であったり、あるいは、化学の研究者だったりするのです。研究者教員の大学院の授業も、なかなか楽しいですよ。学校現場の問題の理論的な裏付けなどは、研究者教員の授業で聞くことができます。



# 教職大学院の雰囲気

- ▶ 教職大学院の雰囲気を伝える動画が、熊本大学のホームページに貼っています。
  - ▶ YouTubeで見ることができます。[熊本大学教職大学院 "YouTube" - Bing video](#)
  - ▶ [現職院生と学ぶ - YouTube](#)
  - ▶ [自分と向き合い学ぶ - YouTube](#)
  - ▶ [指導教員から学ぶ - YouTube](#)
  - ▶ [現場の実習で学ぶ - YouTube](#)
- ▶ また、熊本大学のホームページにも関連する記事が出ています。
- ▶ [熊本大学教職大学院 | 初等・中等教育研究支援システム \(熊本大学教育学部\) \(kumamoto-u.ac.jp\)](#)